



2023年3月期 第3四半期

ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社

(東証プライム市場：6544) 2023年2月7日

1

2023年3月期 第3四半期決算概要

2

2023年3月期 連結業績予想



2023年3月期 第3四半期決算概要

保守契約台数はオーガニックのみで年間1万台純増が視野に

- 国内保守契約台数はオーガニックで過去最高となる8,000台超の純増となり、保有契約台数は87,030台。
- 旺盛な需要を背景にリニューアル台数は1,080台（前年同期比260台増）。
- LiftSPOT成約数は1万台を突破。
- 拠点数は129拠点に拡大（生田ビルディングメンテナンス含む）。新規進出エリアでは秋田、熊本に拠点を設置。
- 従業員数は新卒技術者を中心に増加。

(台、名)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	
	実績	実績	実績	実績	第3四半期 実績	(前期末比増減)
保守契約台数	48,800	54,800	67,500	79,000	87,030	+ 8,030
リニューアル実施台数（期中）	670	820	920	1,150	1,080	+ 260
立体駐車場	--	--	--	18,830	21,400	+ 2,570
拠点数	71	78	101	124	129	+ 5
従業員数	1,093	1,234	1,398	1,618	1,792	+ 174
うち技術者	708	781	881	1,003	1,098	+ 95
うち営業	108	135	156	195	214	+ 19

保守売上の安定成長に加えリニューアル売上が加速し売上高は前年同期比16.6%増

- 保守契約の増加に伴い保守売上は順調な伸びを見せるが、部品不足に伴う保全業務の工期遅れは大きな進捗なし。リニューアル売上はニーズを着実にとらえた結果、想定を上回る増収が続く。
- メディア事業売上は順調に拡大。第2四半期から連結対象となったマレーシア子会社がその他売上に大きく貢献。



(百万円、%)

	2022年3月期 第3四半期		2023年3月期 第3四半期		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	%
保守・保全業務	15,536	71.7	17,079	67.6	1,542	9.9
リニューアル業務	5,674	26.2	7,294	28.9	1,619	28.5
その他	459	2.1	904	3.6	445	97.1
合計	21,670	100.0	25,278	100.0	3,607	16.6

増収・増益基調続く

- 保守契約件数の増加に伴う保守売上の増加、想定を上回るニーズを背景とするリニューアル売上が増収に貢献。保全事業の伸び悩みは海外子会社の貢献やメディア売上の伸びで相殺し、増収ペースは加速。
- 営業利益の成長はリニューアル売上の成長とM&Aも含めた新規進出地域の成長、ビルメンテナンスを手掛ける海外事業の貢献がけん引。

(百万円、円、%)

	2022年3月期 第3四半期		2023年3月期 第3四半期		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	%
売上高	21,670	100.0	25,278	100.0	3,607	16.6
営業利益	2,945	13.6	3,501	13.9	556	18.9
経常利益	3,050	14.1	3,598	14.2	547	17.9
親会社に帰属する 四半期純利益	1,899	8.8	2,306	9.1	406	21.4
(減価償却費)	667	3.1	875	3.5	207	31.1
(のれん償却額)	140	0.6	197	0.8	57	40.9
EBITDA	3,753	17.3	4,575	18.1	821	21.9
一株当たり利益	21.41	--	25.96	--	4.55	21.3

- 事業拡大に伴う運転資金の増加、保守契約数の増加に伴う設備投資を借入金と自己資金で支える。自己資本比率は四半期単独では着実に改善。

(百万円)

	2022年3月期末	2023年3月期 第3四半期末	増減額
現預金	2,179	2,258	+ 78
有形固定資産	9,559	11,007	+ 1,448
無形固定資産	4,307	4,518	+ 211
有利子負債	7,323	8,985	+ 1,662
純資産	11,756	12,854	+ 1,098
総資産	25,338	28,315	+ 2,977



2023年3月期 連結業績予想

通期業績予想は11月10日発表の修正予想を据え置き

- 保全工事の受注残は11月10日業績予想修正時の通期見通しの範囲内で推移しており、解消は来期以降との見通しは変わらず。
- 11月10日発表の通期業績予想は据え置きとする。

(百万円、%)

	上期			下期			通期		
	2022/3期 金額	2023/3期 金額	前年同期比	2022/3期 金額	2023/3期 金額	前年同期比	2022/3期 金額	2023/3期 金額	前年同期比
売上高	13,906	15,987	115.0	15,844	18,013	113.7	29,751	34,000	114.3
営業利益	1,828	2,073	113.3	2,284	2,627	115.0	4,113	4,700	114.3
経常利益	1,932	2,168	112.2	2,293	2,632	114.8	4,225	4,800	113.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,212	1,401	115.6	1,514	1,599	105.6	2,726	3,000	110.0
	売上比	売上比		売上比	売上比		売上比	売上比	
売上総利益率	38.5	38.0		38.8	39.1		38.6	38.6	
販売管理費率	25.3	25.1		24.4	24.5		24.8	24.8	
営業利益率	13.2	13.0		14.4	14.6		13.8	13.8	
経常利益率	13.9	13.6		14.5	14.6		14.2	14.1	
当期純利益率	8.7	8.8		9.6	8.9		9.2	8.8	

(百万円、%)

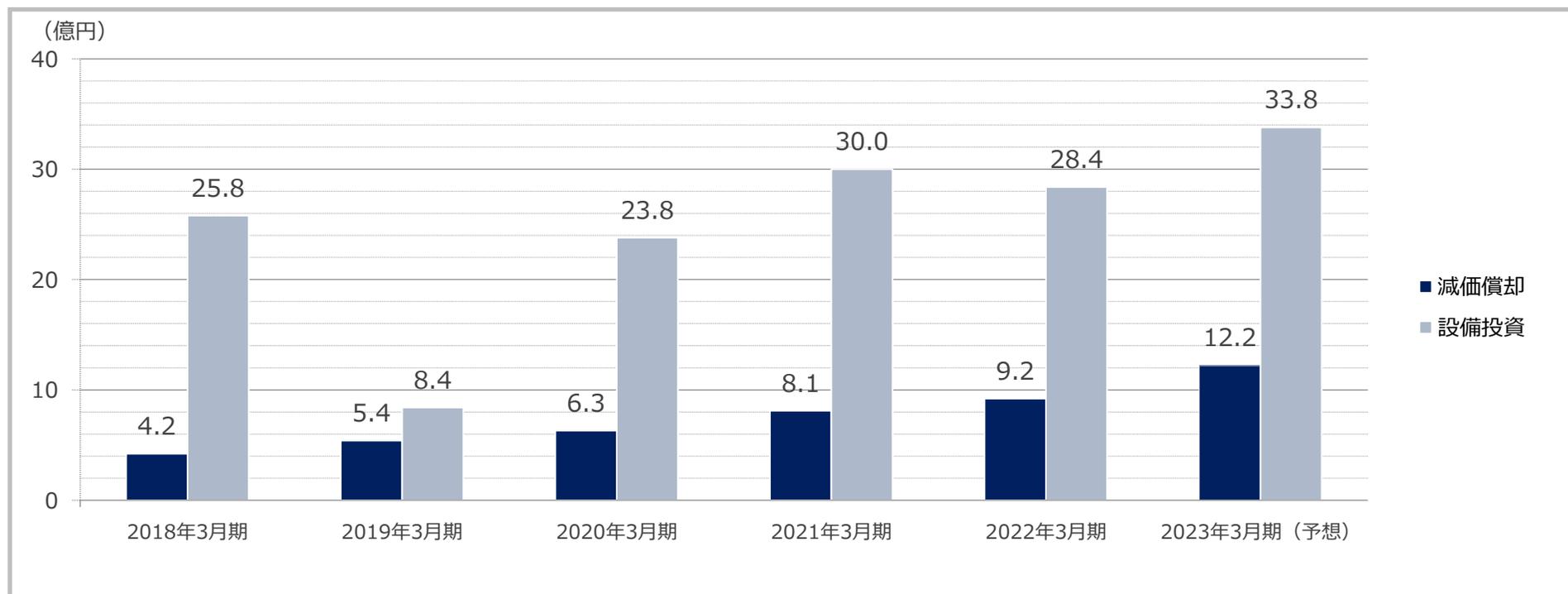
	上期			下期			通期		
	2022/3期 金額	2023/3期 金額	前年同期比	2022/3期 金額	2023/3期 金額	前年同期比	2022/3期 金額	2023/3期 金額	前年同期比
保守・保全業務	10,112	11,184	110.6	11,024	11,616	105.4	21,137	22,800	107.9
リユース業務	3,483	4,287	123.1	4,536	5,812	128.1	8,020	10,100	125.9
その他	310	514	165.6	283	585	206.7	593	1,100	185.5
合計	13,906	15,987	115.0	15,844	18,013	113.7	29,751	34,000	114.3

2023年3月期連結業績予想（設備投資・減価償却）

(億円)

	2022年3月期	2023年3月期（予想）	備考
減価償却費	9.2	12.2	
設備投資費	28.4	33.8	リモート遠隔点検サービス「PRIME」に関する投資等

設備投資と減価償却費の推移



■ 基本戦略

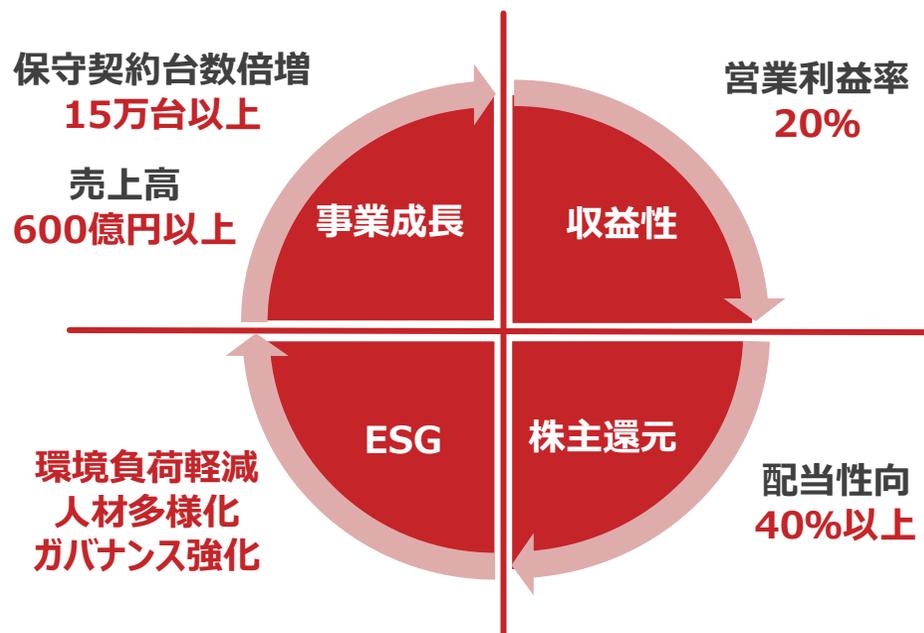
- 5年で、現在の管理台数の倍増である15万台の獲得を目指し、より一層成長を加速
- プライム市場に相応しい企業として、社会的・地球環境問題にも向き合い、社会環境変化に適応した、持続的な成長と企業価値の向上を目指す

■ 成長戦略

- 国内マーケットのシェア拡大による保守・保全業務売上成長（オーガニック+M&A）
- 保守契約台数の増加に伴うリニューアル需要の獲得
- 人材育成、デジタル活用による事業生産性・業務効率性の改善による収益性の向上

■ 重点指標

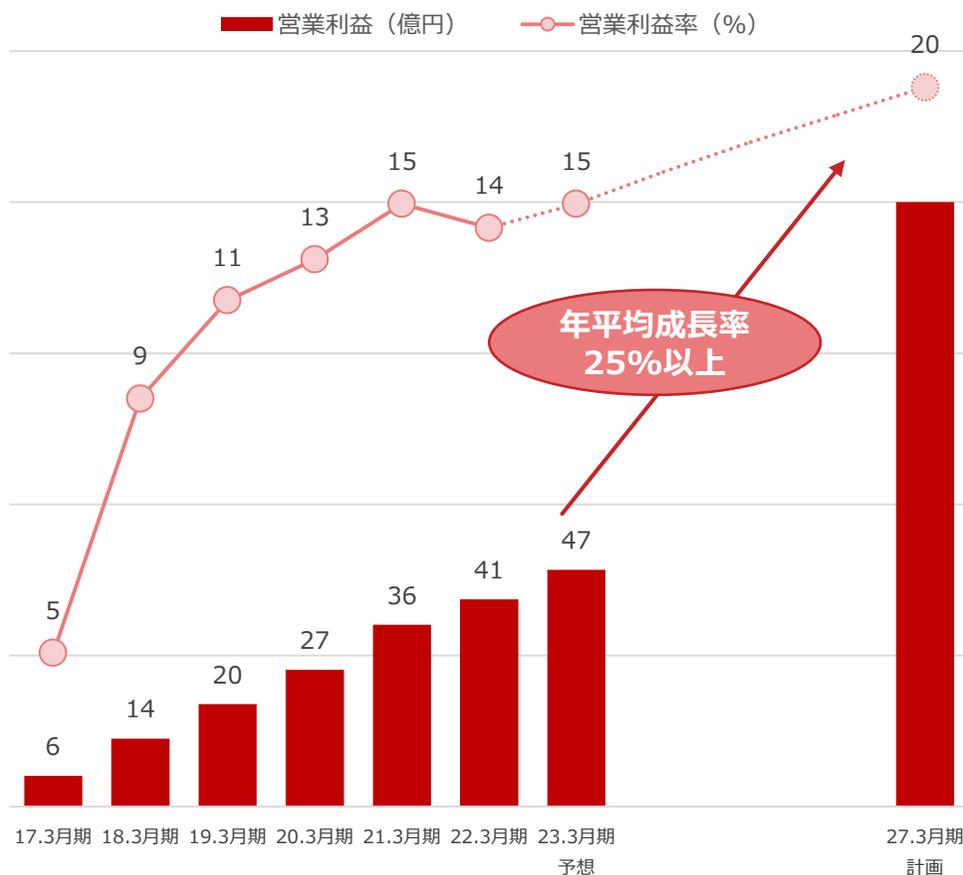
**成長を通じ企業価値を高め、
全てのステイクホルダーと共栄する**



- 成長性、収益性指標は2027年3月期までに達成することを目標とする
- 営業利益率は、積極的なM&Aの推進を前提として、一時的なのれん償却を除く

保守契約台数増、人材育成、デジタル活用による生産性向上による収益性の向上

営業利益率（%）推移



1. 保守契約台数の増加による売上成長

- 東日本エリアを中心に保守契約10万台を獲得
- 西日本エリアを中心にマーケットシェア10%を獲得
- 保守台数の増加に比例して、リニューアル売上の獲得も可能

2. 生産性・サービス力の向上

- 管理台数増加に伴う、1人当たり保守台数増加
- 社内研修制度による人材育成、サービス力の向上
- 関西JIC（仮称）竣工による、生産性・サービス力の向上

3. コスト削減

- ESG経営の観点からリサイクル、リファーマッシュ品活用
- 管理台数増加による、規模の経済の効果により各種調達コストの削減、間接固定費の削減

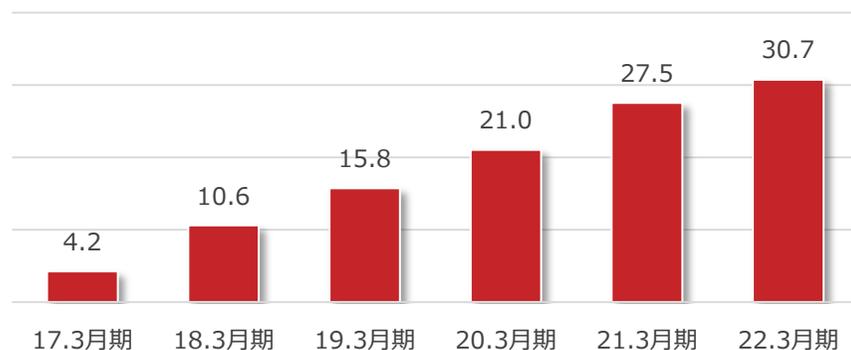
保守契約台数増加と並行し、収益性を向上

営業利益率：20%

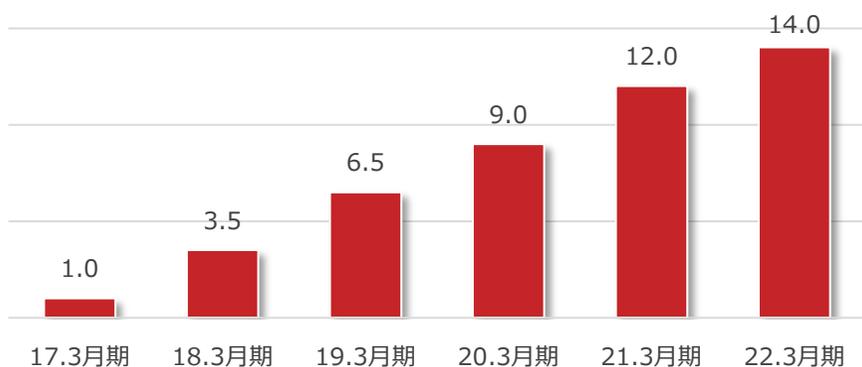
(保守契約台数15万台達成時。のれん償却除く)

1株利益（EPS）・1株配当（DPS）の安定的な上昇、配当性向（40%以上）

修正後EPS（円）推移



修正後DPS（円）推移



配当性向（%）推移

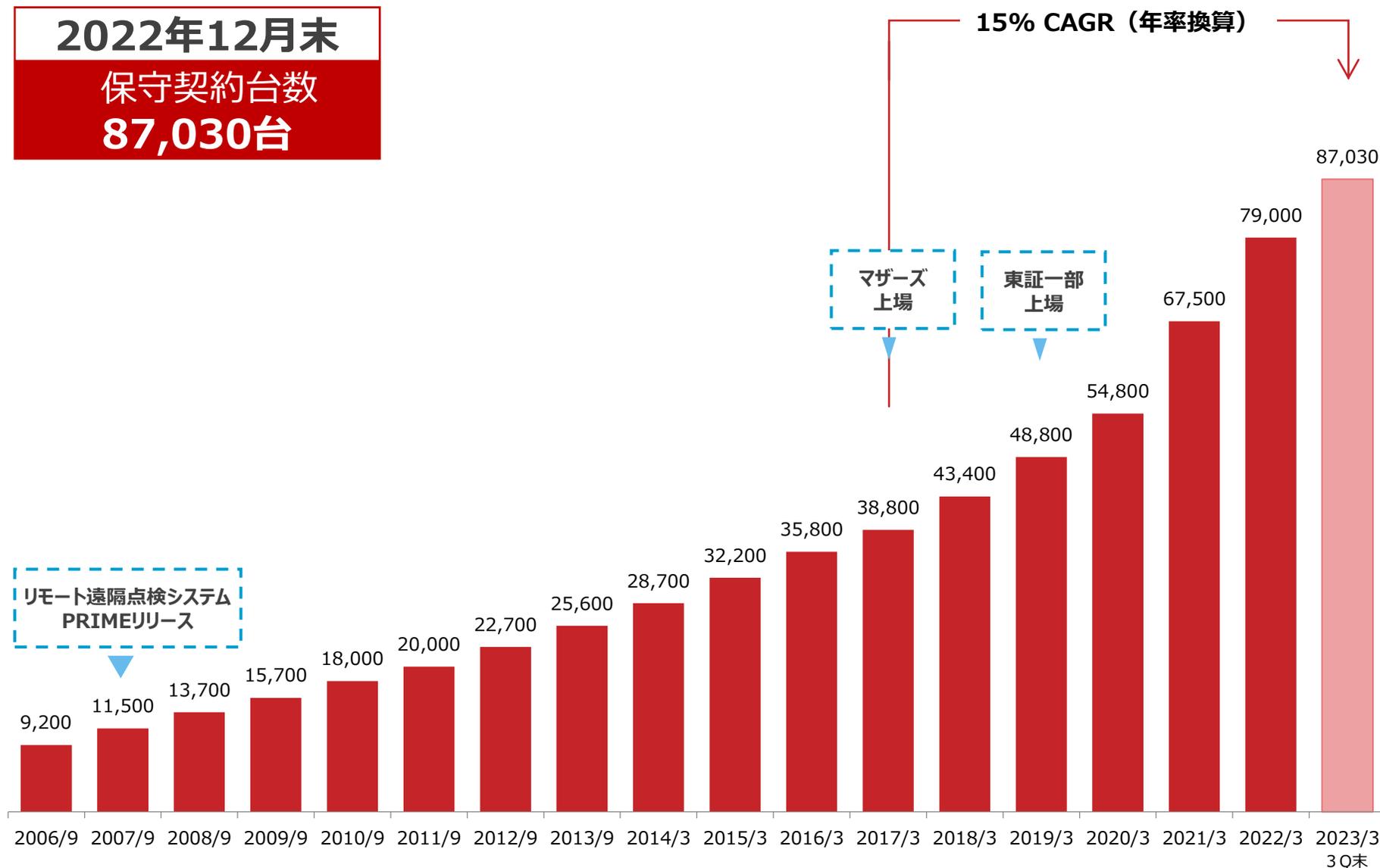




参考資料

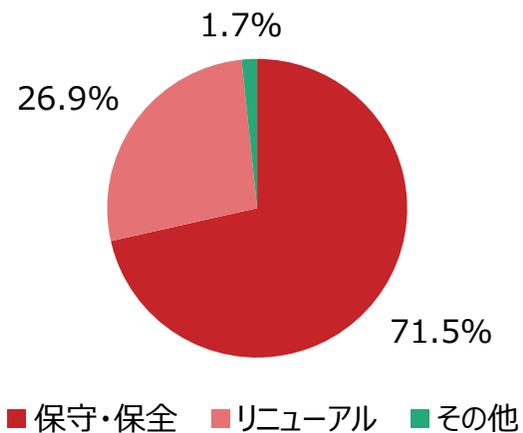
2022年12月末

保守契約台数
87,030台

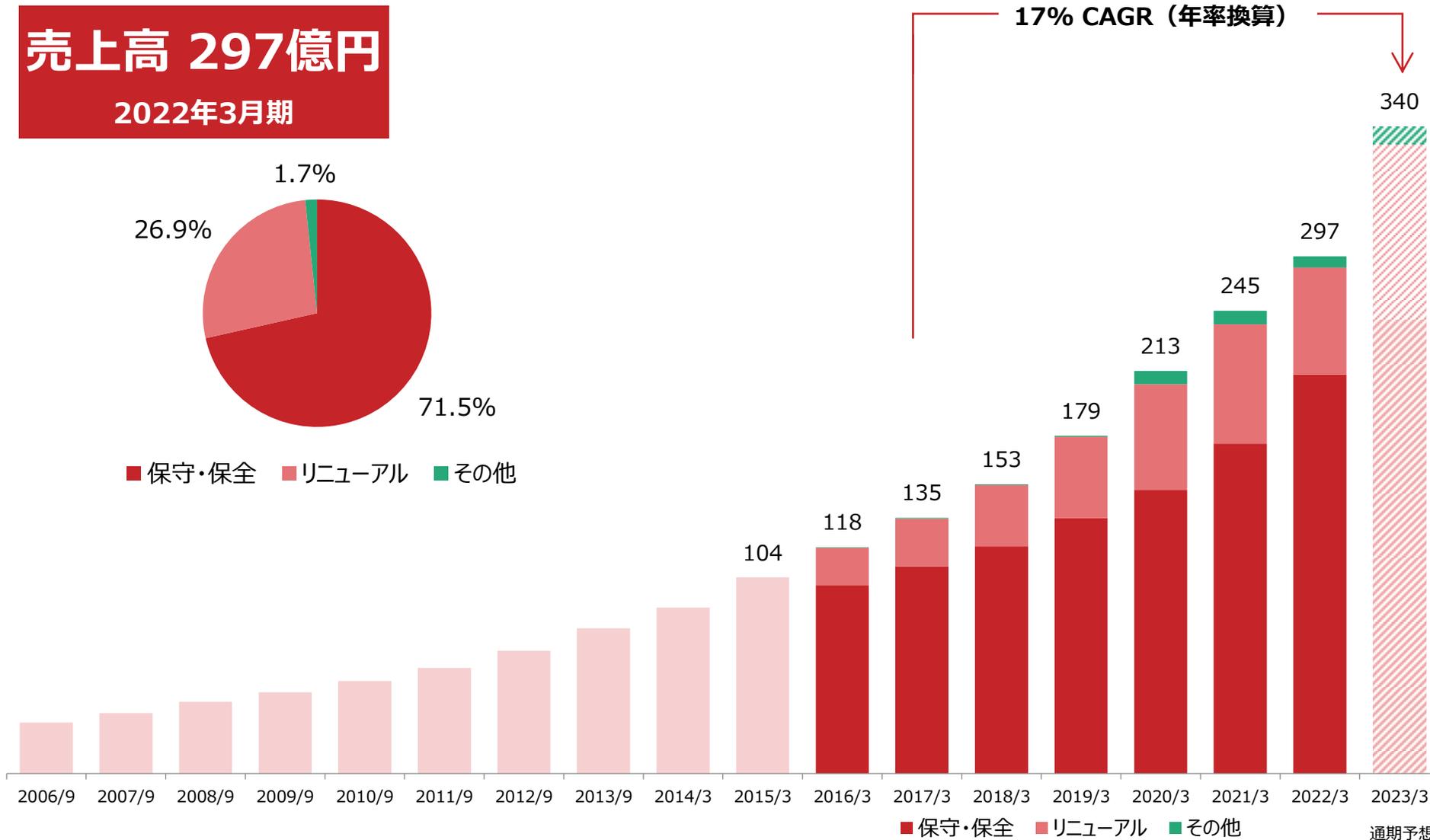


売上高 297億円

2022年3月期



17% CAGR (年率換算)



(注) 決算期変更に伴い2014年3月期は6か月決算。上記は年率換算して表示しています。

2022年12月末時点 営業所数 129拠点

関西エリア

- ▶ ジャパンエレベーターサービス関西株式会社
- ▶ 株式会社NSエレベーター
- ▶ 株式会社関西エレベーター

中国/四国エリア

- ▶ ジャパンエレベーターサービス中四国株式会社
- ▶ 株式会社三好エレベーター
- ▶ エヒメエレベーターサービス株式会社
- ▶ 四国昇降機サービス株式会社
- ▶ 四国エレベーターサービス株式会社
- ▶ 株式会社生田ビルディングメンテナンス

九州エリア

- ▶ ジャパンエレベーターサービス九州株式会社

東海/甲信越エリア

- ▶ ジャパンエレベーターサービス東海株式会社
- ▶ 株式会社長野エレベーター
- ▶ 株式会社上新ビルサービス (※)

北海道エリア

- ▶ ジャパンエレベーターサービス北海道株式会社
- ▶ 株式会社EVOTECH

東北エリア

- ▶ ジャパンエレベーターサービス城西株式会社 (東北支社)

関東エリア

- ▶ ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社
- ▶ ジャパンエレベーターサービス城南株式会社
- ▶ ジャパンエレベーターサービス城西株式会社
- ▶ ジャパンエレベーターサービス神奈川株式会社
- ▶ ジャパンエレベーターパーツ株式会社
- ▶ ジャパンパーキングサービス株式会社
- ▶ セイコーエレベーター株式会社
- ▶ 東京エレベーター株式会社
- ▶ 株式会社トヨタファシリティーサービス
- ▶ 株式会社関東エレベーターシステム
- ▶ エレベーターメディア株式会社 (※)

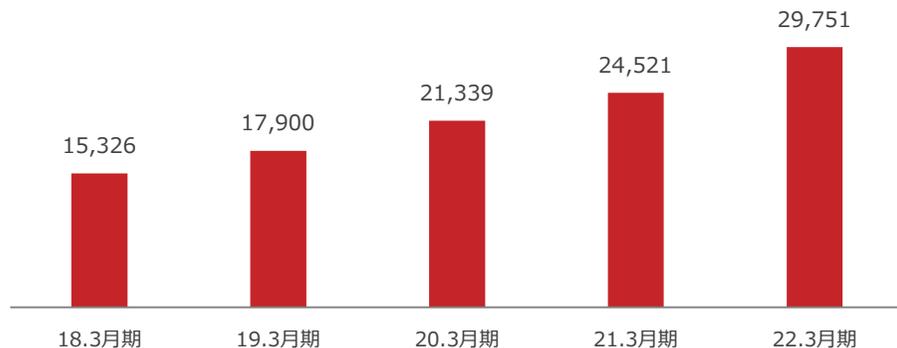
■ JESグループの対応可能エリア

■ 協会の対応可能エリア

(※) エレベーター等の保守・保全及びリニューアル業務以外のグループ会社

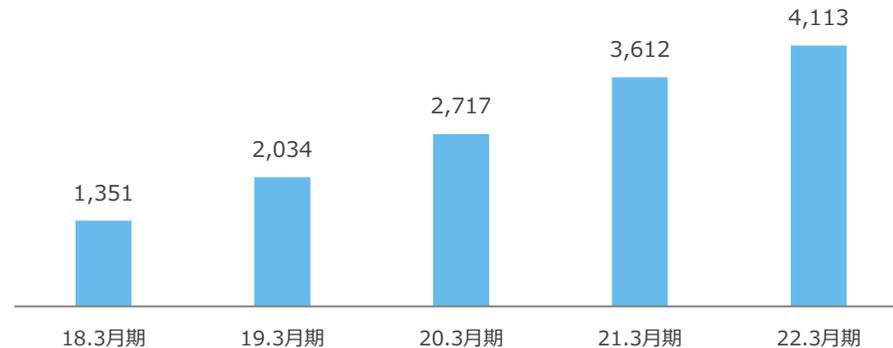
売上高

(百万円)



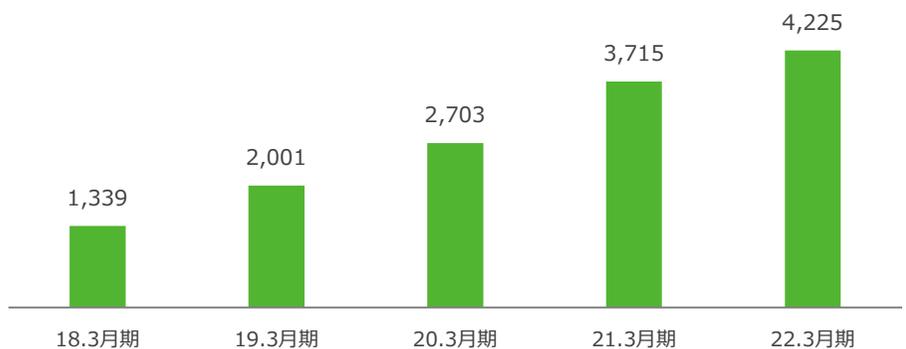
営業利益

(百万円)



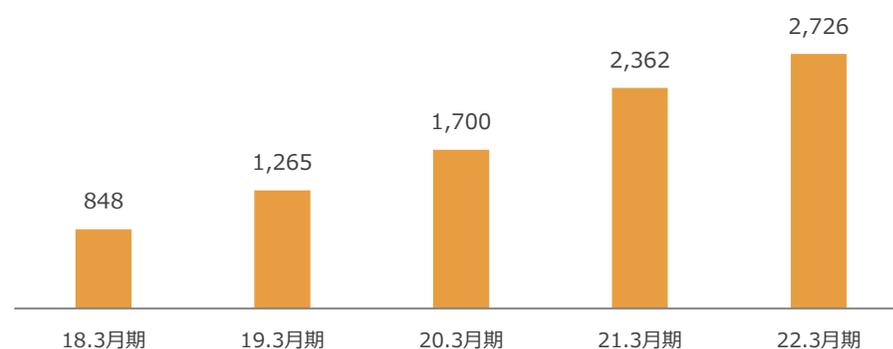
経常利益

(百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)

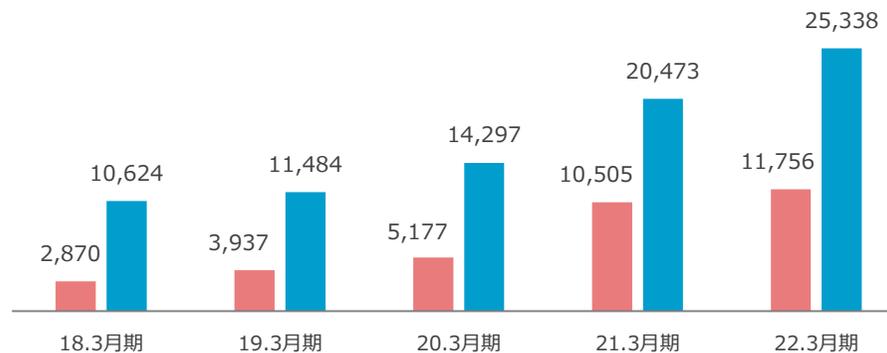


純資産額／総資産額

(百万円)

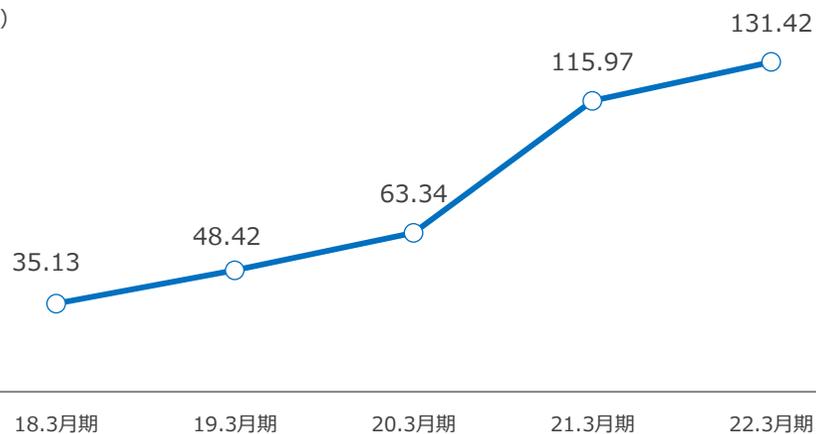
■ 純資産額

■ 総資産額



1株当たり純資産額

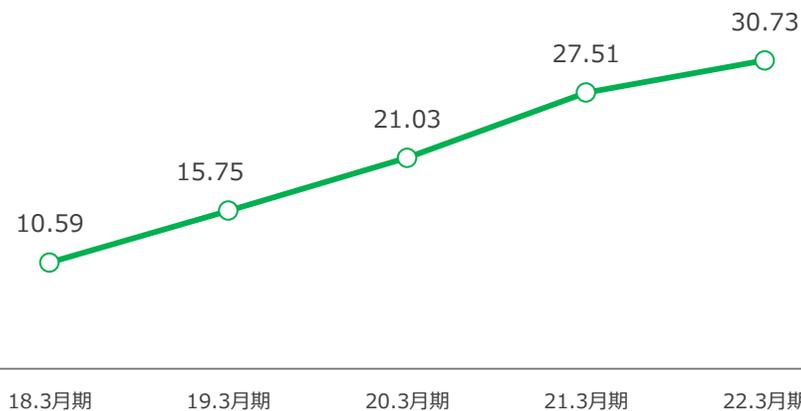
(円)



* 1 : 2の株式分割 (2021年1月1日効力発生)

1株当たり当期純利益金額

(円)



* 1 : 2の株式分割 (2021年1月1日効力発生)

免責事項

- この資料は皆様の参考に資するため、ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。